

令和 6 年度 年間授業計画 教科 芸術 科目 書道 I

教科 : 芸術

科目 : 書道 I

単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第 1 学年

教科担当者 :	A・B組 宮本弘 C・D組 宮本弘 E・F・G組 宮本弘										
使用教科書 :	書道 I (教育出版) 副教材: 「神龍半印本で学ぶ手本蘭亭序」 (教育図書)										

教科 芸術 の目標 :

【知識及び技能】	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深める。書の伝統に基づき作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かな表現を工夫したり、伝統と文化の意味や価値を考える。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式を幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につける。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し、表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。	書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配当時数
		漢	仮	鑑賞					
単元 1 書の美を求めて	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】 ・指導事項				【知識及び技能】				
	書の伝統と文化を知り、深く味わう。				①用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。				
	文房四宝 用具・用材について				【思考力・判断力・表現力】				
	【思考力、判断力、表現力】 ・教材				①用具・用材から表現性の相互関連を理解している。				
	創造的な表現をするための書の美を味わう。				【学びに向かう力、人間性等】				
	筆・墨・硯・紙				①様々な用具・用材による多様な書の美の表現の広がり、効果の違いについて理解している。				
単元 2 書の世界	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	【知識及び技能】 ・指導事項				【知識及び技能】				
	書の伝統と文化を知り、それに基づいて必要な技能を身につける。				①中学校国語科の書写での学習を振り返り、書写から書道への広がりを理解している。				
	姿勢・執筆 古典の学び方				【思考力・判断力・表現力】				
	【思考力、判断力、表現力】 ・教材				①書や文字の意味や価値・表現の効果について、芸術家の視点から考えている。				
	創造的な表現をするための書の美を味わう。				【学びに向かう力、人間性等】				
	教科書				①生活の中で学習を活かしていくことに積極的に取り組んでいる。				
1 学期	定期考查 (第1学期中間検査) /返却と解説								
	単元 3 漢字の書の学習				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	【知識及び技能】 ・指導事項				【知識及び技能】				
	用筆・運筆から生み出される書の表現性とその効果との関わりを理解する。				①書の表現の多様性に気付き、既得の知識を再確認している。				
	書体の変遷 拓本と碑について				【思考力・判断力・表現力】				
	【思考力、判断力、表現力】 ・教材				①生活や社会における書の効用について考え、味わっている。				
	意図に基づいた表現について構想し、工夫する。				【学びに向かう力、人間性等】				
単元 4 楷書の学習	教科書				①主体的に学習に取り組んでいる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・一人 1 台端末の活用 (場面)								
	主体的に漢字の書の幅広い表現活動に取り組む。								
	まなびリンク								
	定期考查 (第1学期期末検査) /返却と解説								

令和 6 年度 年間授業計画 教科 芸術 科目 書道 I

教科 : 芸術

科目 : 書道 I

単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第 1 学年

教科担当者 :	A・B組 宮本弘 C・D組 宮本弘 E・F・G組 宮本弘										
使用教科書 :	書道 I (教育出版) 副教材: 「神龍半印本で学ぶ手本蘭亭序」 (教育図書)										

教科 芸術 の目標 :

【知識及び技能】	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深める。書の伝統に基づき作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かな表現を工夫したり、伝統と文化の意味や価値を考える。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式を幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につける。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し、表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。	書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配当時数
		漢	仮	鑑賞					
2 学期	単元 5 行書の学習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 ①速書きに適し、読みやすいことから日常生活にも使用される行書の書体をわかっている。	○	○	○	4
	【知識及び技能】	・指導事項			【思考力・判断力・表現力】 ①筆使いや文字の造形の違いを理解し、表現することができる。				
	日本及び中国の文字と書の伝統と文化について理解する。	様々な行書の特徴			【学びに向かう力、人間性等】 ①楷書と比較した点画の変化や連続性、省略性について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			○				
	名筆や古典作品の鑑賞を通して書の伝統文化を味わう。	教科書 図版			○				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人 1 台端末の活用 (場面)			○				
	調和や風趣を考えながら表現効果を意識する。	鑑賞ガイド 動画			○				
	単元 6 王羲之と蘭亭序	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			○				
	【知識及び技能】	・指導事項			○				
	時間性と運動性、運動性と空間性を理解する。	行書の特徴 楷書との比較			○				
定期考査 (第 2 学期中間考査) /返却と解説	【思考力、判断力、表現力】	・教材			○				
	臨書で扱った表現活動を理解し、それを表現する。	教科書 図版			○				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人 1 台端末の活用 (場面)			○				
	主体的に行書の表現の学習活動に取り組む。	まなびリンク 動画			○				
	定期考査 (第 2 学期中間考査) /返却と解説				○				
定期考査 (第 2 学期末考査) /返却と解説	単元 7 唐の太宗と蘭亭序	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 ①一つも同じ表現がなく、書風が違うことを感じ取り、臨書できる。	○	○	○	8
	【知識及び技能】	・指導事項			【思考力・判断力・表現力】 ①前後の文字との関係から、字形が変化していくことを理解している。				
	線質、字形等の構成要素を理解する。	二十の「之」字と豊かな表現力			【学びに向かう力、人間性等】 ①課題を完成させ、これを土台にして行書の書風を味わうようにしている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			○				
	普遍的価値について考え、書のよさや美しさを味わう。	卷物 (神龍半印本) 副教材			○				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人 1 台端末の活用 (場面)			○				
	主体的に創造的な鑑賞に取り組む。	鑑賞ガイド			○				
	単元 8 仮名の書の学習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			○				
	【知識及び技能】	・指導事項			○				
	仮名の書、漢字仮名文じりの書の特質と歴史について理解する。	仮名の成立 基本筆使い			○				
定期考査 (第 2 学期末考査) /返却と解説	【思考力、判断力、表現力】	・教材			○				
	生活や社会における仮名の美的効用を考え、味わう。	教科書			○				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人 1 台端末の活用 (場面)			○				
	主体的に創造的な鑑賞に取り組む。	発表			○				
	定期考査 (第 2 学期末考査) /返却と解説				○				

